

**愛媛大学防災情報研究センター**  
**防災・まちづくりに関わる最新の学術・技術開発シンポジウム**

愛媛大学では、四国の瀬戸内側に甚大な被害が出た平成 16 年台風災害を契機に、大規模自然災害に対する地域防災の研究拠点として、また防災や建設関連の新技术開発の拠点として、平成 18 年 4 月に愛媛大学防災情報研究センターを設置しました。以後、東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害、平成 30 年 7 月豪雨災害、令和元年東日本台風災害、令和 2 年 7 月豪雨災害など、大規模な地震災害や豪雨災害が頻発しています。特に、平成 30 年 7 月豪雨災害では愛媛県下にも甚大な被害が発生し、センターでは 50 名を超える愛媛大学の防災関連の研究者を結集し、災害調査に全力を挙げて取り組みました。

平成 18 年にセンターを設置以降、多くの寄附講座を受け入れ、学術研究に、技術開発に、人材育成に、防災啓発に取り組んでまいりました。今回、これらの成果の一部を発表する場を設けました。オンライン併用ですので、多数の方に、気軽に参加いただけますようご案内申し上げます。

主 催：愛媛大学防災情報研究センター

共 催：(一社)四国クリエイト協会、インフラメンテナンス国民会議四国フォーラム

日 時：令和 3 年 7 月 6 日 (火) 13:00-17:35

場 所：愛媛大学南加記念ホール (松山市文京町 3)

定 員：会場参加 100 名 (コロナ感染対策として、会場定員の半分以下とします)

オンライン参加 100 名

参加費：無料

参加申込み：参加を希望される方は、氏名、所属、連絡先(メール、Tel)と参加方法(会場又はオンライン)を明記の上、お申し込みください。

申込み先：E-mail [nakajima@cee.ehime-u.ac.jp](mailto:nakajima@cee.ehime-u.ac.jp) Tel&Fax 089-927-8141

防災情報研究センター 中島宛

申込締切：令和 3 年 6 月 30 日 (水)

※本シンポジウムは、CPD 対象プログラム(4.5 単位予定)に申請予定です。

プログラム：

13:00-13:05

開会挨拶

愛媛大学防災情報研究センター長

ネトラ・プラカッシュ・バンダリ

13:05-13:20

愛媛大学防災情報研究センター寄附講座における防災関連学術技術開発研究

愛媛大学防災情報研究センター特命教授 矢田部龍一

13:20-15:05

セッション I 建設・防災関連技術開発研究

1. 地中レーダ技術を用いた路面下性状に関する研究

愛媛大学防災情報研究センター特定教授(カナン・ジオリサーチ) 馬場 務

2. GNSS を活用した効率的な調査・解析の推進

愛媛大学防災情報研究センター特定教授(カナン・ジオリサーチ) 片山辰雄

3. 急速施工車両用プレキャスト防護柵「RS ガードフェンス」の技術開発  
 第一コンサルタント 技術部 片山直道  
 愛媛大学防災情報研究センター特定教授(第一コンサルタント) 右城 猛
4. 小規模落石防護柵「SR フェンス」の技術開発  
 ニップロ 代表取締役社長 加賀山肇  
 愛媛大学防災情報研究センター特定教授(第一コンサルタント) 右城 猛
5. ハーフプレキャスト落石防護擁壁「Rs ウォール」工法の技術開発  
 第一コンサルタント 技術部 吉田 萌  
 愛媛大学防災情報研究センター特定教授(第一コンサルタント) 右城 猛
6. 海洋レーダを用いた津波計測（災害時）と波浪計測（平常時）に関する研究  
 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 日向博文  
 同 准教授 片岡智哉  
 (海洋レーダ情報高度化研究部門)
7. 松山都市圏を対象としたアクティビティシミュレーションによるスマートシティの実現と  
 その活用  
 愛媛大学防災情報研究センター特定講師 三谷卓摩  
 (松山アーバンデザインセンター)

15:15-16:00

セッションⅡ 防災意識・技術伝承

1. 平成30年北海道胆振東部地震に伴う大規模停電災害を受けた住民の防災意識の変化に関する  
 考察  
 愛媛大学防災情報研究センター特定教授(カナン・ジオリサーチ) 中前茂之
2. 松山市民の防災意識調査から見た効果的な防災啓発策の検討  
 愛媛大学防災情報研究センター 地域連携職員 喜安祥隆  
 同 特定教授 中尾順子  
 同 特命教授 矢田部龍一  
 (松山防災リーダー育成センター)
3. 地方建設会社における技術伝承・技能形成の仕組みに関する調査研究  
 愛媛大学社会共創学部 准教授 羽鳥剛史  
 同 防災情報研究センター特定教授(カナン・ジオリサーチ) 中前茂之

16:00-17:00

セッションⅢ 事前復興・国土強靱化研究

1. 南海トラフ地震事前復興研究～えひめ事前復興推進指針～  
 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 森脇 亮  
 同 防災情報研究センター 特定教授 山本浩司、同客員研究員 新宮圭一  
 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤英二  
 愛媛大学防災情報研究センター特命教授 矢田部龍一
2. 南海トラフ地震事前復興研究～情報プラットフォームの開発と活用～  
 愛媛大学防災情報研究センター 客員研究員 新宮圭一、特定教授 山本浩司  
 同 大学院理工学研究科 教授 森脇 亮  
 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤英二
3. 防災・減災，国土強靱化総合研究～取り組む課題と解決へのアプローチ～  
 愛媛大学防災情報研究センター特定教授(芙蓉コンサルタント)

須賀幸一、大野二郎、田村弘文

愛媛大学防災情報研究センター 特定教授 山本浩司

同 大学院理工学研究科 教授 森脇 亮

同 防災情報研究センター 特命教授 矢田部龍一

4. 地域の建設コンサルタントから見た高知県の南海トラフ地震対策

愛媛大学防災情報研究センター特定教授(第一コンサルタント)

松本洋一、右城 猛

17:00-17:30

セッションⅣ 防災教育研究

1. 学校や地域を舞台とした児童生徒が主役の学校防災教育

愛媛大学防災情報研究センター 特定教授 中尾順子、特命教授 矢田部龍一  
(松山防災リーダー育成センター)

2. 南海トラフ地震事前復興研究～将来の大人世代への防災事前復興教育～

愛媛大学防災情報研究センター 特定教授 山本浩司  
東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤英二  
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 森脇 亮  
同 防災情報研究センター 客員研究員 新宮圭一

17:30-17:35

閉会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター 特命教授 矢田部龍一

備 考：

(1) 新型コロナウイルス対策について

- ・ 入口での検温及び手指消毒、マスク着用、参加者間の距離確保等、感染対策に御協力をお願いします。
- ・ 発熱、咳症状等、体調が優れない方及び感染拡大地域を訪問した方は、会場での参加はご遠慮ください。
- ・ 愛媛県内の感染状況によっては、オンラインのみでの開催となる場合があります。

(2) 駐車場について

構内の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください(伊予鉄道市内電車「赤十字病院前」下車、北へ徒歩3分)